



本会記事

■広報委員会だより

「小学生のための夏休み『自由研究』教室」における活動報告

広報委員会委員長 永津雅章

去る、平成25年7月27日(土)13:00より、日本大学理工学部駿河台校舎1号館6階CSTホールにおいて、「小学生のための夏休み『自由研究』教室」が開催され、当学会がイベントコーナー「プラズマで遊ぼう」を担当しました。広報委員会から「日大イベント担当」委員が参加し、約3時間半にわたり多くの子どもたちと楽しい一時を過ごしました。今回の日大イベントでは、昨年度ご担当いただいた広報委員会委員の先生方に、引き続きご協力をお願いしました。ご協力をいただきました浅井朋彦先生(日大)をはじめ、柏木美恵子先生(JAEA 那珂研)、水口直紀先生(核融合研)、畑山明聖先生(慶應大)、日渡良爾先生(電力中央研)、プラズマ・核融合学会事務局の杉山恵子さん、そして当日のイベントで協力していただいた日大理工学部の学生の皆様、日大理工学部の会場担当スタッフの皆様には、この紙面を借りまして、感謝申し上げます。

イベントコーナーの「プラズマで遊ぼう」では、「ダイヤモンドで氷を切ろう」、「超伝導磁気浮上列車」、「磁気浮上地球儀」、「プラズマボール」、「注射器型火花放電」、「ろうそくの炎に電気が通る」、「一般向けパンフレット&クイズ」の各テーマを委員の方々が分担し、多くの子どもたちに科学の面白さを直に体験してもらいました。今回は、これまでになく参加者が多く、例年の約2倍の230名(学年1年生42名、2年生37名、3年生41名、4年生45名、5年生

36名、6年生26名、そして未就学児3名)の子どもたちの参加がありました。もちろん、ご家族が参加されていますので、当日の会場は参加者で溢れんばかりで、私たちもほとんど休憩している間がありませんでした。

写真1は担当したテーマの対応の合間に会場の様子を撮影したのですが、会場の盛況ぶりを感じていただけるのではないのでしょうか。子どもたちの興味津々な、好奇心旺盛な眼の輝きがとても印象的でした。委員の先生方と同様に、私自身も、子どもたちとの対応についつい時間を忘れ、今想えば、あつという間に過ぎてしまったように思います。写真2は、イベント終了後に参加いただきました先生方との集合写真ですが、皆さん、イベントを終えて、非常に充実した表情をされているように感じます。

学会では、このようなアウトリーチ活動を通じて、地道ながら、子どもたちやそのご両親にプラズマや核融合に少しでも興味や関心を持ってもらうよう努力しています。来年1月には、名古屋大学で開催される理科教室にも学会として参加します。今後、広報委員会では、会員の皆様が所属する大学や研究機関等でのオープンキャンパスやテクノフェスタ等において、子ども向けの「おもしろ実験」やプラズマに関連した研究室公開を行ってられるアウトリーチ活動に、学会としてジョイントした取り組みができないかどうかを検討したいと考えております。子ども向けのプラズマや核融合を紹介するパンフレットやクイズなどを活用していただくのも一つかと思えます。是非、ご意見やご提案などありましたら、広報委員会(学会事務局)までご意見をいただければ幸いです。



写真1 当日の会場の様子。



写真2 イベント終了後に皆さんと記念撮影。